

冬どりレタスの大玉生産と品質向上に関する研究(第1報)

トンネルの大きさが冬どりレタスの球の肥大に及ぼす影響

西谷国宏・清水康司

1. 冬どりレタスの大球生産と品質向上を図るため、トンネルを大型化した場合の効果について検討した。
2. トンネルの大型化は気温が平年並かそれ以下の年に保温性を高める効果があったが、平年気温以上の暖冬年には、換気の度合いが多くなり、大型化の効果は認められなかった。
3. レタスの球の肥大に対するトンネルの大型化の効果は平年気温以上の暖冬年には認められず、平年気温ないしそれ以下の低温年において顕著に現われた。
4. 大型トンネルで若苗を定植し、被覆時期を早くすることにより、12月下旬の葉面積が増大し、その結果球の肥大が助長され、生育日数が短縮された。
5. 気象条件の年次変動からみて、トンネルの大型化は安定生産上欠くことのできない栽培技術であるが、実際場面においては若苗を定植し、被覆時期を早めるなどといったトンネルの大型化の効果が最大限に現れる栽培条件を取り入れる必要がある。